

栗原地域だより

第5号

平成25年1月4日発行

目次

○春の仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けて	p1
○栗原市内のほ場整備が順調に進んでいます！	p2
○長崎で“和牛のオリンピック”が開催されました	p2
○(社)大日本農会「農事功績者表彰」で緑白綬有功章を受章	p3
○きのこの放射能被害対策をお知らせします	p4
○栗原市内の農林産物の放射性セシウム濃度を検査しています	p5

栗原市の新しい郷土料理

「そばだんご」



春の仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けて ～栗原らしいおもてなしでお迎えます！～

地方振興部

平成25年4月～6月の仙台・宮城DC^{※1}に向け、観光推進協議会栗原支部^{※2}では昨年の11月14日(水)に「第2回おもてなし研修会」を開催しました。参加者が接遇・食事・ツーリズム(観光)・移動手手段の4グループに分かれてDCに向けてできることを提案し合い、たくさんの意見が出されました。

これらの意見を整理して分析した結果、すぐにできることとして「お客様に栗原の観光情報を伝えられるようになる」「お客様が見やすい場所に観光パンフレットを置く」といった意見が多くあがっており、個人及び案内所のインフォメーション力を上げる必要があることが分かりました。

そこで、1月に開催する「第3回おもてなし研修会」では、栗原市内の各団体のホームページや発行している観光パンフレットの情報を共有するとともに、それらを利用した観光案内をお客様役と案内役に分かれて練習し、おもてなしの技術を磨き合う予定です。

また、栗原の玄関口「くりこま高原駅」でも観光情報を分かりやすく伝える工夫をしていきます。

今あるものを生かした栗原らしいおもてなしで、お客様に喜んでいただくための取り組みが始まっています！

※1 DC(デスティネーションキャンペーン)

地方自治体・地元観光業者とJRグループとが連携して行う、観光キャンペーン。宮城県では、平成25年4月から6月に開催します。

※2 観光推進協議会栗原支部

様々な観光キャンペーン事業を推進するため、栗原市田園観光課と当事務所で構成しています。

■お問い合わせ 地方振興部商工・振興班 Tel:0228-22-2195



笑顔咲くたび
伊達な旅

仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

栗原市内のほ場整備が順調に進んでいます！

～品質・工程・安全の各管理の徹底を目指して～

農業農村整備部

栗原市築館の沖富地区と瀬峰の上富地区の2地区で、水田の大区画ほ場整備を実施しています。

昨年の8月末に本格着工している沖富地区(27.4ha)の工事は、10月の好天に恵まれ、当初の目標であった「年内の^{あらせいちこう}荒整地工※1完了」を達成できました。

上富地区(揚水機場を含む22.5ha)は、水田の工事が転作(稲ホールクroppサイレージ※2)と水稻の刈り取り後となるため、夏季に揚水機場を先行して工事しました。荒整地工は昨年9月上旬に本格着工し、順調に進んでいます。土の切り盛り工事はこれから3月にかけて行うため、雪解けや排水の状況を見極めて工程を見直しながら、出来栄の良い農地を農家に引き渡せるよう奮闘していきます。

また、工事現場の安全管理にも、工事請負者と一体となって取り組んでいます。当事務所では労働災害・公衆災害をなくすためオリジナルの安全ポスターを作成し、発注した全ての工事現場に配付し、安全に対する意識を啓発しています。工事現場近くにお住まいの方や工事現場付近の道路を通行される方は、事故に遭わないように交通誘導等への御協力をお願いします。

※1 荒整地工 水田の基盤の切り盛り作業の1次整地のこと。

※2 稲ホールクroppサイレージ

飼料用に、稲の茎葉部分と子実部分を倉庫・容器等の内部で発酵させたもの。

■お問い合わせ

農業農村整備部農地整備第一班 Tel: 0228-22-2401

農業農村整備部農地整備第三班 Tel: 0228-22-2402



沖富地区施工中(H24.10.25撮影)



上富地区荒整地状況(H24.10.12撮影)



作成した安全ポスター

長崎で“和牛のオリンピック”が開催されました

～栗原からも繁殖雌牛が出場～

畜産振興部

昨年10月25日～29日、長崎県佐世保市のハウステンボスで、“和牛のオリンピック”と称される、5年に一度の「全国和牛能力共進会」(以下「全共」)が開催されました。

この「全共」には、全国から種牛の部(種雄と繁殖雌牛)に305頭、肉牛の部(肥育牛)に175頭が出品され、肉用牛の改良度合や牛肉の質などを競いました。宮城県からは種牛の部18頭、肉牛の部8頭が出品され、その内栗原からは肉牛の部第3区(若雌の2)に1頭、肉牛の部第5区(繁殖雌牛群)に1群(4頭)の計5頭が出品されました。「全共」で上位入賞を果たした地域の牛はブランドとしての評価が高まり、

高価格で取引されることもあるため、生産者はもちろん関係団体も各県の威信をかけて取り組んでいます。

栗原からの出品牛は長崎まで 30 時間超の長旅となりましたが、出品者・関係者によって体調管理が念入りに行われ、審査に臨みました。審査結果は第 3 区で優等賞 5 席(全国 5 位)、第 5 区で 1 等賞 2 席(全国 11 位)と好成績でした。また、本県から出品された牛が第 4 区(系統雌牛群)で宮城歴代最高の優等賞 3 席(全国 3 位)を受賞し、4 年後の平成 29 年に宮城県で開催する「全共」での上位入賞によるブランド力向上への弾みとなりました。

会場では、各県の銘柄牛の紹介・試食、ゆるキャラの集合、コンサートなどのイベントも開催され、大いに盛り上がりました。開催期間 5 日間での累計来場者数は、当初見込まれた 37 万人を大幅に上回る 48 万人超でした。宮城県で開催する「全共」でも全国から多くの来場者が見込めることから、地元経済の活性化や、復興をアピールできることが期待されています。

■お問い合わせ

畜産振興部畜産振興班 Tel : 0228-22-2487



第3区(若雌の2)の代表牛



長崎全共マスコット「かさべこくん」とむすび丸

(社) 大日本農会「農事功績者表彰」で緑白綬有功章を受章

農業振興部

昨年 11 月 21 日、石垣記念ホール(東京都港区)において「平成 24 年度 第 96 回農事功績者表彰式」が開催され、栗原市築館の三浦孝夫氏が緑白綬有功章を受章しました。

「農事功績者表彰」は、公益社団法人大日本農会主催の表彰事業で、総裁を務められている桂宮殿下の御裁可をいただき授与されるものです。農事改良等への功績や、地域農業発展への貢献が評価された農業実践の功労者に与えられます。

三浦氏は、イチゴ・水稻・野菜・果樹等の複合経営を行っており、水稻作業の効率化により栗原市内でいち早くイチゴ栽培を導入し、地域への普及に尽力されました。今回の受章は、効率的な水稻作業を基盤に、地域の先駆者としてイチゴ栽培を先導し、直売所を併設して観光農業を推進してきたほか、指導農業士としてイチゴ栽培の後継者育成にも尽力してきたことが評価されたものです。

歴史ある表彰事業の表彰式に出席し、表彰状と緑白綬有功章を手にした三浦氏御夫妻は、「大変光栄な



笑顔の三浦さんご夫妻

章をいただきました。今後ますます努力していきたいです。」と笑顔で話していました。

■お問い合わせ 農業振興部地域農業班 Tel: 0228-22-9404

きのこの放射能被害対策をお知らせします

～風評被害対策と原木きのこ（露地）の経営再開支援～

林業振興部

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の飛散による被害で、栗原の原木むきたけが出荷自粛に、原木しいたけ（露地）・こごみ・こしあぶら・たけのこ及び野生きのこが出荷制限になっています。また、放射性物質の影響を受けていない原木しいたけ（施設）や菌床しいたけ等も風評被害にあっています。

県では原木きのこ（露地）の経営再開に向けての取り組みや、風評被害対策を行っていますので、その内容を御紹介します。



きのこ生産現場での見学会

1 風評被害対策として、きのこ生産現場見学会を開催しました

栗原で県内一の生産量を誇るきのこの安全性をアピールするため、昨年7月21日と11月17日に「きのこ生産現場見学会」を開催し、仙台市などから計71名が参加しました。栗原の菌床しいたけ生産現場で、おが粉・きのこの放射能検査状況の説明、施設見学、収穫体験などを行い、生産現場において万全の体制で放射能対策が行われていることを御理解いただきました。

2 ほだ木*などの放射能濃度を調べています

ほだ木やきのこ原木は、林野庁で定めた基準値（1キログラム当たり放射性セシウム50ベクレル）を超えたものは使用できません。このため、県では生産者（出荷者）のほだ木やきのこ原木の放射能濃度検査を行い、安全の確認と早期の生産再開に取り組んでいます。

※ほだ木 シイタケの種菌を埋め込んだ原木

3 原木きのこ生産者の経営再開支援のため、汚染ほだ木の撤去集積事業を行います

ほだ場から汚染ほだ木を片付けなければ、新しいほだ木を置くことができません。そのため、宮城県森林組合連合会（以下「森林組合」）が実施主体となって、希望する生産者を対象に汚染ほだ木の撤去集積を行います。撤去集積場所は生産者の確保した場所となりますが、費用は森林組合が県の資金を受けて負担しますので、生産者の負担はありません。事業は平成24年度～25年度に行う予定です

4 きんのこ原木の確保のため、県外から原木を導入する場合の支援を行います

県外から原木を導入する場合、希望する生産者を対象に、森林組合が事業主体となって費用の2分の1を助成します。今年度内の実施を予定しています。

以上について、詳しくは下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ 林業振興部林業振興班 Tel: 0228-22-2381

栗原市内の農林産物の放射性セシウム濃度を検査しています

(平成 24 年 10 月～12 月検査結果)

農業振興部・林業振興部

昨年の 10 月 26 日から 12 月 21 日までの間に玄米 290 点、大豆 155 点、そば 43 点、その他農林産物 89 点の放射性セシウム濃度を検査しました。

大豆については、基準値を超えたものが 1 点検出され、一部地区で出荷制限となっています。そばについても、基準値を超えたものが 1 点あり、一部地区で出荷制限となっています。

玄米は全て基準値(100 ベクレル/kg)以下だったため、10 月 3 日までに市内全域の出荷自粛が解除されました。また、その他農林産物 89 点についても、全て基準値以下でした。市場に流通している食品は安全ですので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの(10 月～12 月検査結果)☆

◎：基準値以下 -：検査未実施

農産物				農産物			
品名	点数	露地	施設	品名	点数	露地	施設
あずき	3	◎	-	チンゲンサイ	2	◎	-
いちご	1	-	◎	つぼみ菜	2	-	◎
いんげん	1	◎	-	にんじん	2	◎	-
かぶ	2	◎	-	ねぎ	1	◎	-
カボチャ	20	◎	-	ブロッコリー	1	◎	-
キウイフルーツ	5	◎	-	ほうれんそう	3	◎	◎
きくいも	2	◎	-	ヤーコン	2	◎	-
キャベツ	8	◎	-	レタス	1	◎	-
グリーンポール	2	◎	-	柿	6	◎	-
ごぼう	3	◎	-	春菊	1	◎	-
こまつな	1	◎	-	青菜	1	◎	-
こんにゃくいも	1	◎	-	長いも	7	◎	-
さつまいも	5	◎	-	白菜	2	◎	-
セロリ	1	◎	-				

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP をご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jo/uhou/shokuhin.html

林産物			
品名	点数	露地	施設
ギンナン	2	◎	-
自然薯	1	◎	-

■お問い合わせ

農業振興部先進技術班 Tel：0228-22-9437

林業振興部林業振興班 Tel：0228-22-2381

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

事務所ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

「栗原地域だより」web 版 <http://www.pref.miyagi.jp/site/kouiki-kurihara/chiiکیدayori.html>



むすび丸

笑顔咲くたび 伊達な旅 仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン

平成25年4月～6月開催